

熊本県U12 リーグ戦

新型コロナウイルス感染症及び熱中症対策

1 大会運営における対策

○会場における感染症対策及び熱中症対策責任者の設置

※会場責任者が兼務してもよい

○大会初日の予選は、午前と午後に分けて会場内の人数制限をする。

※各チームの会場及び待機場所では、選手及びチームサポーター(10名以内)、チームスタッフのみが活動する。

※チームスタッフ及びチームサポーターは、常にIDを着用する。

※チームスタッフ・・・コーチ、アシスタントコーチ、マネージャー、
帯同審判、コミッショナー担当

※チームサポーター・・・チーム(選手)を管理する者(大人限る)

○受付の設置

・検温、健康チェック表回収、IDの確認、手の消毒。

○選手及びチームスタッフ、チームサポーターの待機場所の設置。

・3密を避け、風通しがよい場所。

○感染症対策及び熱中症対策を最大限講じたコート設営

・ベンチ及びT0席等の感染症対策及び熱中症対策を講じて設営する。

・窓を全開にしたり、扇風機等を設置したりして換気をよくする。

・各会場にあれば大型扇風機の設置。

○試合及び試合間の取組

・試合時間は4分-4分(5分)-4分-4分の試合時間で行う。

・試合中の大声での声援及び指示等の禁止。

・試合後の各ベンチへの挨拶及び選手同士の握手の禁止。

・試合終了後、ベンチ及びT0席の消毒。

○トイレ及び更衣室の対応

・ハンドソープ、消毒液を設置する。

・更衣室では密にならないようにする。

○マスクの着用

・選手、チームスタッフ、チームサポーター、大会役員はマスク着用。

※試合直後やタイムアウトの場合に熱中症対策として外しても良い。しかし、マスクを外した場合は、声を発しない。(飛沫が飛ばないようにする)

○審判は、ホイッスルカバーを着用する。

○午前と午後で選手等を入れ替えるときには、待機場所等の消毒を行う。

2 各チームにおける対策

- 日頃の健康管理
- 入り口での検温。
- 健康チェックシートの提出(2週間分)。
- 館内でのマスク着用。
- 館内では必ずIDを携帯する。
- 再入場の際も検温を行う。
- 大声での声援を控える。
- アリーナ内及び待機場所でのソーシャル・ディスタンスの確保。
- こまめに水分補給を行う。
- 水分補給は個人のボトルのみで行う。
- 試合終了後は、試合当事者でベンチの消毒を行う。
- 昼食等の飲食を行う際には、飛沫が飛ばないように配慮する。
- 天候がよければ飲食等は、屋外の日陰で涼しい場所で行う。
- 下足袋の準備
- チームサポーターによる選手(子供たち)の健康管理。
- ウォーミングアップの際の声出しを控える。
- チームでの円陣を組んだ声出しを控える。
- TOで使用するゴム手袋及びフェイスシールドは各チームで準備する。